

村田木型製作所

福岡県宗像市

はばたく中小企業・小規模事業者300社

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

職人技と3Dのデジタル技術を用いた提案型の木型製作により企業の悩みを解決

木型を通じて「社会に貢献すること」をモットーに、職人技と3Dのデジタル技術を複合的に組み合わせた木型製作を実現した。

「繊細な技術」「臨機応変な対応力」「納期の厳守」を約束し、少人数の職人だからこそ可能な木型製作技術とサービスを提供し企業様の悩みを確実に解決する。

従来の「受注型」木型製作業から、図面が残っていない铸造品等を3Dスキャンし図面データを制作する等「提案型」木型製作業として新事業を展開している。

- | | | | |
|----------|---|--------|-------|
| ● 所在地 | 福岡県宗像市田野1203 | ● 設立 | 1982年 |
| ● 電話/FAX | 0940-62-0595 / 0940-62-0792 | ● 資本金 | 非公開 |
| ● URL | http://muratakigata.jp/ | ● 従業員数 | 3人 |
| ● 代表者 | 代表 村田 省三（写真左）
後継者 村田 誠（写真右） | | |



固定観念に囚われない「提案型」の木型製作業への進化

木型の製作では、通常、最終製品が既に設計されており、木型業者は設計通りに製作する「受注型」が主で、デザインを行わない。しかし村田木型製作所では、高度な職人技と複数のデジタル機械、取扱素材の豊富さ、更にこれらを適正価格で提供可能という高い総合力で、「図面が無い」原型に新しいデザイン（容量や形状の変更）を付加し図面を作成する「リバースエンジニアリング」を可能にした。業界の固定観念に囚われず、発注者と商品開発段階から一緒に検討する「提案型」の木型製作業を展開している。



3Dスキャナーと読み込まれたモデル

切削機械の活用で様々な素材の木型や製品に対応

切削機械を使い木型や製品を製作することで様々な素材に対応でき、3Dプリンタを使用した場合に比べ、高精度・短納期・30%のコスト削減を実現した。また、2018年に新たに取引先のニーズにマッチした大型の切削機械を導入し、これにより工程数が大幅に減少し作業効率の改善ができ、今まで断っていた案件も自社で受けることが可能となった。さらに、作業効率の改善に伴い、熟練職人から若手職人への技術指導や営業、検査・検品等の売上に直結する活動に人員・時間を割くことが可能となっている。



新たに導入した大型の切削機械

芸術系社員による技術部門強化と「提案型」新事業の展開

これまでは家族経営であったが、今後の新事業展開を見据え、芸術系大学と芸術系大学院の卒業者を新たに採用した。既に持つ知見と技術を活かし、一人は製作部門をリードする技術人材として、もう一人は女性視点の「デザイン」を取り入れた「提案型」の新事業展開を支える人材として活躍している。また、地元宗像市商工会の伴走型支援を有効活用し、後継者である代表の息子、村田誠氏が事業を継承。円滑な事業承継を経て、技能の伝承と新事業展開を両立させるとともに、法人化するべく準備を進めている。



製作部門の作業模様